

実証的な理論・対照言語学の推進

浅原正幸
五十嵐陽介
窪田悠介
プラシヤント・パルデシ
松本曜

本プロジェクトでは、科学的根拠に基づく実証的な理論的研究を進め、言語学のオープンサイエンス化を目標として、データの整備・公開を進める。データの整備・公開にあたってはサブプロジェクトメンバーで相互に協力し、言語学の多様な理論の多角的な検証体制を確立する。さらには理論・対照言語学におけるデータの共用手法について検討を進める。また、理論言語学・対照言語学のオープンサイエンス化を推進する取組として、研究資料のオープンアクセス化に必要な施策を講じ、全所的な共同研究発表会の中で言語学分野におけるオープンサイエンスの普及に努める。

日本・琉球語諸方言におけるイントネーションの多様性解明のための実証的研究

【イントネーション (Intonation)】

- 現地調査による方言データの収集
- 方言コーパスの構築・分析
- 調査分析結果の理論化

広範囲なデータ
に基づく
通言語的言語研究の
開拓、促進

論文集の出版

体言化の実証的な言語類型論—理論・フィールドワーク・歴史・方言の観点から—

【体言化 (Nominalizations)】

- アジア諸言語の類型論の研究
- 日本語の共時的・通時的な類型論の研究

国際シンポジウムの開催

述語の意味と文法に関する実証的類型論

【述語の意味文法 (Predicates)】

- 移動・状態変化・行為の言語表現の類型論
- 日本語動詞の性質の解明

サブプロジェクト間で実証的な
研究手法のオープン化について
相互協力できる可能性を検討

計算言語学的手法による理論言語学の実証的な方法論の開拓

【計算言語学 (Computational Linguistics)】

- 計算言語学的手法による言語理論の検証
- 心理言語学的モデリング

査読付き学術誌への
論文掲載

トップカンファレンスで
の論文発表

アノテーションデータを用いた実証的計算心理言語学

【アノテーション (Annotation)】

- 国語研で整備された「記述的研究」データの共用化
- 統語・意味・認知情報データの統合による言語研究

実証的な研究手法や
研究環境の
開発、整備

イベントの開催（終了）：

2022/09/05-06 (月-火) 「Evidence-based Linguistics Workshop 2022」

ハイブリッド開催（国立国語研究所／zoom） オンサイト：共同研究員限定／オンライン 300名

<https://masayu-a.github.io/ELW/ELW2022/>

2022/09/07 (水) 「日本語における評価用データセットの構築と利用性の向上」分科会

ハイブリッド開催（国立国語研究所／zoom） オンサイト：100名／オンライン 300名

<https://masayu-a.github.io/ELW/ELW2022/JED.html>